

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

安川グループ経営理念

事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献すること。品質重視・経営効率向上・市場志向の3項目を実現する。

営業利益
501億円営業利益率
9.3%ROE
13.7%売上収益
5,376億円

2 中長期の経営戦略

1. i3-Mechatronicsソリューション

統合的・知能的・革新的なメカトロニクスで顧客の改善・進化を実現。技術開発力・自社ものづくり進化・サプライチェーン連携・品質革新を強化。

3. 応用領域事業拡大

Energy Saving・Clean Power・Food & Agri・Biomedical Scienceで環境・食料・医療課題を解決。サステナブルな社会実現に貢献。

2. グローバル成長市場攻略

自動化コンポーネントを軸に市場別戦略を展開。グローバル最適生産体制構築とレジリエントなサプライチェーン構築で需要を確実に捕捉。

4. YDX・サステナビリティ深化

YDX-IIでPLM再構築によるお客さま価値創出。マテリアリティへの取り組み強化でステークホルダー期待に応える経営を実践。

3 対処すべき課題

① 顧客提案営業の定着化

- ・ i3-Mechatronicsに基づく顧客の改善・進化の提案営業を定着させ実績化
- ・ ACサーボ「Σ-X」・インバータシリーズの需要獲得最大化
- ・ MOTOMAN NEXT・YRM1000/iC9000シリーズのグローバル展開加速

② グローバル生産能力の拡充

- ・ 八幡西事業所第5工場新設とモータ・ロボット一貫生産体制構築
- ・ 南行橋事業所2026年度稼働開始に向けた計画推進
- ・ 欧州ロボットシステム工場拡張とスロベニア拠点強化

③ 地域別事業戦略の実行

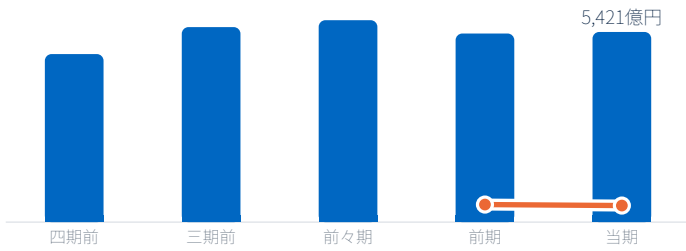
- ・ インド市場の成長戦略と投資計画を明確化して速やかに実行
- ・ 欧州・中国での競争環境変化に対応した事業構造改革の完遂
- ・ データセンター・自家消費太陽光発電市場での拡大

面接で使えるポイント

- ・ 安川グループ経営理念『事業の遂行を通じて広く社会の発展、人類の福祉に貢献』の実現に向けて…
- ・ 2024年度営業利益501億円・営業利益率9.3%の実績を基盤に…
- ・ YDX-II・PLM再構築・生成AI活用を通じた経営基盤強化と…

証券コード 6506

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
5,421億円営業利益率
8.7%財務健康度
68点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 62.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
860万円

電気機器内 39位/225社

平均年齢
42.7歳

電気機器内 136位/225社

平均勤続
17.6年

電気機器内 65位/225社

女性管理職
3.1%

電気機器内 138位/182社

男性育休
72.0%

電気機器内 111位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 富士通が、ファナック、安川電機、川崎重工業の各社と、NVID

